乳幼児視力検査–森実式ドットカード

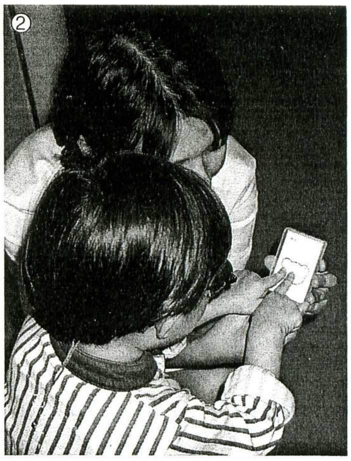
目的
ランドルト環視力検査が不可能な乳幼児の近距離視力（最小視認閾）の測定

準備物 森実式ドットカード（先の丸いペンシル状の棒）

被検者と対座し、森実式カードの目の大きなカードを用いて目のある時は「有る」、ない時は「無い」と答えさせたり、先の丸いペンシル状の棒又は指でウサギの目を押さえさせる練習をする

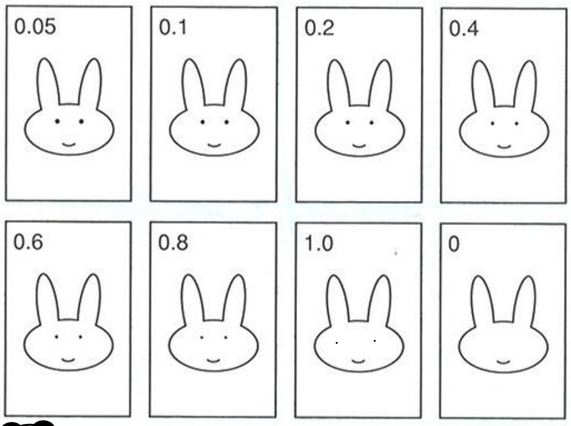
2歳前後の幼児から出来るよ！
高齢者の近距離スクリーニングや老眼鏡の要否判定にも有効。

指で触るとカードが汚れて好ましくないが・・・。
棒を持つことも難しい。



若倉雅登：神経眼科外来 P64

所敬：視能学増補版 P65 図 12



2 つの眼の幅や位置を微妙に変えているよ！

目的は何かを考え、片眼にするか、両眼にするか、左右眼どちらを先にするか、決定する

片眼視力を知りたいが、遮閉板やアイパッチをどうしても嫌がる場合、
片眼検査のヒント
・ごっこ遊びにつなげる
・親も一緒に眼帯をする
・アイパッチに好きなシールを貼付するなど。

まず最初のカードの隅の視力数値を隠して持って被検者の眼前 30cm で提示する

検査距離を一定に保つ為、被検者の衣服とカードを 30cm の長さのテープ付きクリップではさむと良い。

カードを示して「お目々ある？」と聞き、確認できたら次第に小さい目に移り、時々0カードを提示したりして再度確認する

視認できているかの確認が出来ればどんな方法でもよい。
ほめたりして飽きさせず楽しくやらせるように工夫すること。

例）

次第に反応が微妙になってきた！

最小視認閾に近づいてきたということ！
この検査は一般の視力検査法の最小分離閾や最小可読閾の測定ではないが、相関関係が成立する。

先ほどと同様に「お目々がどこにある？」と聞き、指か先の丸いペンシル状の棒で目をささせたり、0カードを提示したり0カードとその他のカードを並べ「お目目どっちかにある？」などと聞いて視認できているかの確認をする

少し大きい眼にして2〜3 回繰り返す

ウサギの目が小さくなると、幼児の場合どこを指さしているか判らなくなる。
その時は臨機応変に。

例）

0.3 で確実にささなくなったり、適当にさすようになった！

答えることができた最小のカード値が視力値

結果・記載例）

森実ドットカード
RV＝0.2
LV＝0.5

参考
ウサギだけでなくクマもあるよ！
標準的視力値は、

2〜3歳	0.6 以上
4〜5歳	0.8 以上
6歳以上	1.0 以上

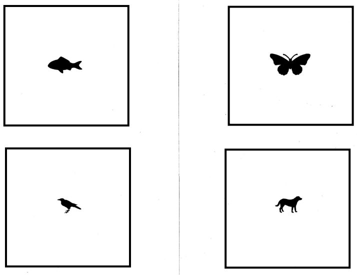
乳幼児視力検査−絵カード視力

目的：ランドルト環視力測定が不可能な乳幼児の（最小可読閾）の測定

視能矯正学 P73 に記載されている

準備物：絵カード視標・絵カードの動物の模型

絵カード視標



被検者の眼前で絵視標を見せ、答え方の練習をさせるが、どうしてもうまく言えなかったら、模型と絵カードを一致させる練習をする

本人が想定したままを受け入れる。
例えば犬を馬と答えるならそのままで。

↓

目的は何かを考え、片眼にするか、両眼にするか、左右眼どちらを先にするか、決定する

片眼視力を知りたいが、遮閉板やアイパッチをどうしても嫌がる場合、アイパッチに好きなシールを貼る、親も一緒に眼帯する、親の膝にのせ親の手で被検者の片眼をハンカチで押さえる、など色々と工夫すること。
検査距離も 5mがベストだが、集中力がない場合、2、5mで測定し、見えた最高視力を半分に換算する場合もある。

↓

絵カードの大きいものから順に見せ、模型又は言葉で答えさせる

↓

半数以下となる視力まで測定する

↓

過半数見える視力が得られる最小のその視標が視力値

↓

結果・記載例）

絵カード視力検査
R.V.(v.d.)＝0.6
L.V.(v.s.)＝0.4

必ず何で測定した視力かを記入のこと。
だってこれは最小可読閾だからね。